

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

| シラバス番号 | 科目名 | 担当者名 | 実務経験のある教員による授業科目 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|---|----------------------------------|---|------------------|---|-----|--------|---------|
| 32109 | 実践事例研究 Case study of practice | 古橋敬一 | | 専門 | 2 | 選択 | 1後期 |
| 科目の概要 | | | | | | | |
| 地域社会の中で様々な人と関わりながら生活をしています。この授業では大学がある岡崎市や周辺の市町村の特徴や課題を通して、地域との関わりについて学んでいきます。また、地域の様々なデータから、地域の特徴や課題を的確に読み取り、解決策や新たな提案を考えていく力を修得していきます。この授業を受講することを通して、自分の住んでいる地域にも関心を持ち、自身がどのような形で地域活動、地域貢献ができるか考えることができるようにしてほしいと考えています。そして、その中で建学の精神と社会人基礎力、pisa型学力、AIリテラシーの修得をめざしていく。(DP①②③④⑤) | | | | | | | |
| 学修内容 | | | | 到達目標 | | | |
| ① 市のホームページ、地域で活躍している方の話を通して、地域の特徴を理解し、自身の考えをまとめる。 ② 市町村などが提示しているオープンデータを活用して、地域の課題を見つけていくことができる。 ③ 地域社会について自身の生活から考えることができる。 ④ 地域の人たちなどの関係を良好に保つためにマナー、コミュニケーションを円滑にして、地域の理解を深める。 | | | | ① 地域の特徴を把握し、論じることができる。(DP④) ② 地域の様々なデータを適切に分析し、それについて説明することができる。(DP⑤) ③ 自身の地域社会との関わりについて述べるができる。(DP③) ④ 地域活動に参加にあたり、社会マナー、コミュニケーション能力を身につけている。(DP①②) | | | |
| 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 | | 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例 | | | | | |
| 前に踏み出す力 | 主体性 | 自らの意志と責任で学習を進め、あらゆる事を自分事として捉えていくことができる。 | | | | | |
| | 働きかけ力 | 困難があっても先生や友人などに積極的に質問・助言を求め、自ら解決に向けて努力できる。 | | | | | |
| | 実行力 | 頭で考えるだけでなく、実際に行動に移しトライアンドエラーを実践できる。 | | | | | |
| 考え抜く力 | 課題発見力 | 得られた情報から課題を発見し、何が原因であるのか創造力を発揮し分析を行うことができる。 | | | | | |
| | 計画力 | 行動を起こす前にビジョンを明確にし、タスクを細分化したうえで次の行動を決められる。 | | | | | |
| | 創造力 | レポートは、習得した知識・スキルを活用して創造力を発揮して書くことができる。 | | | | | |
| チームで働く力 | 発信力 | 発信力を発揮してパワーポイントを活用して発表することができる。 | | | | | |
| | 傾聴力 | 話をよく聴き、質問をしてさらに、理解を深めることができる。 | | | | | |
| | 柔軟性 | 一度決めた目標であっても、変更の必要性があれば柔軟に対処できる。 | | | | | |
| | 状況把握力 | グループ活動ではメンバー、自身の立ち位置を考えて行動できる。 | | | | | |
| | 規律性 | 遅刻・無断欠席など、学修意欲の欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。 | | | | | |
| | ストレスコントロール力 | 生活のなかに適度に休む時間を設け、バランスよく学習を進めることができる。 | | | | | |
| テキスト及び参考文献 | | | | | | | |
| 授業の際に、資料を使用。 | | | | | | | |
| 他科目との関連、資格との関連 | | | | | | | |
| DS・AIパスポート資格の必修科目になります。 | | | | | | | |
| 学修上の助言 | | | | 受講生とのルール | | | |
| 地域で活躍している方からの講演を交えて授業を進めていきます。また、地域活動にも参加していきます。社会マナーは守って行動をしてください。 | | | | 授業の内容を理解し、積極的に取り組む姿勢がみられること。 予習・復習をする時間をとること。 | | | |

【評価方法】

| 評価対象 | 評価方法 | | 評価の割合 | 到達目標 | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント | | | |
|--------|--------------|-----------------------|-------|------|---|--|---|---|
| 学修成果 | 学期末試験 | 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験 | 0 | ① | | | | |
| | | | | ② | | | | |
| | | | | ③ | | | | |
| | | | | ④ | | | | |
| | 平常評価 | 小テスト | | 0 | ① | | | |
| | | | | | ② | | | |
| | | | | | ③ | | | |
| | | | | | ④ | | | |
| | | レポート | | 50 | ① | | ✓ | 各授業の最後には、振り返りを書いてもらいます。グループワーク、講義などから、自分の行動を振り返り、次に活かしていくにはどうしたらよいか考えてください。 ・課題として出された提出物はしっかり書いてすべて提出すること。 ・知識と技術の獲得とそれを活用し、グループワークでの課題を解決できたかどうかのpisa型学力も評価する。 ・毎回の授業での振り返り 20点 ・地域の特徴と課題 10点 ・課題の解決策10点 ・地域活動に参加してのまとめ 10点 |
| | | | | | ② | | ✓ | |
| | | | | | ③ | | ✓ | |
| | | | | | ④ | | ✓ | |
| | | 成果発表（プレゼンテーション・作品制作等） | | 40 | ① | | ✓ | ・地域の特徴と課題についてデータを活用して ・地域の課題とその解決策 ・地域活動の実際 |
| | | | | | ② | | ✓ | |
| | | | | | ③ | | ✓ | |
| | | | | | ④ | | ✓ | |
| 学修行動 | 社会人基礎力（学修態度） | 10 | ① | ✓ | 自らの意志と責任で学習を進め、あらゆる事を自分事として捉えていくことができる。主体性 困難があっても先生や友人などに積極的に質問・助言を求め、自ら解決に向けて努力できる。働きかけ力 頭で考えるだけでなく、実際に行動に移すトライアンドエラーを実践できる。実行力 得られた情報から課題を発見し、何が原因であるのか創造力を発揮し分析を行うことができる。課題発見力 行動を起こす前にビジョンを明確にし、タスクを細分化したうえで次の行動を決められる。計画力 レポートは、習得した知識・スキルを活用して創造力を発揮して書くことができる。創造力 発信力を発揮してパワーポイントを活用して発表することができる。発信力 話をよく聴き、質問をしてさらに、理解を深めることができる。 一度決めた目標であっても、変更の必要性があれば柔軟に対処できる。傾聴力 グループ活動ではメンバー、自身の立ち位置を考えて行動できる。柔軟性 遅刻・無断欠席など、学修意欲の欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。規律性 | | | |
| | | | ② | ✓ | | | | |
| | | | ③ | ✓ | | | | |
| | | | ④ | ✓ | | | | |
| 総合評価割合 | | | 100 | | | | | |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準 | 到達レベルB(良)及びC(可)の基準 |
|--|---|
| A : ・課題レポートは期限までに提出でき、字数や記載内容も良く書いて問題ない。 ・発表ではわかりやすく、人に伝えようと工夫を凝らしている。 ・毎回、授業でおこなうワークに積極的に取り組むことができる。 S : ・Aの基準に加えて、さらに学ぶ姿勢も良く、地域活動などではリーダー的な役割をしてグループをまとめようと努力している。 ・授業で学んだことを自身の住んでいる地域にも活かしていこうといった社会人基礎力などを日常生活の中に取り入れ、自らの社会人基礎力を伸ばそうと取り組んでいる姿がわかる | B : ・地域の特徴や課題について理解でき、解決策など日常生活に取り入れようとしている。 ・ワークに真面目に取り組むことができる。 ・課題のレポートは期日を守り提出できている。 C : ・課題レポートは期限までに、概ね提出できた。 ・地域の特徴、課題などについての発表では、多くの助言のもと進めていた。 |

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|---|--|---------------------------|---|---------------------------------------|-------|---|
| 1 | 大学の周辺の市町村の特徴と課題1 | 講義 演習 グループワーク | 地域の特徴を把握することができる。 | ホームページなどで地域の特徴を把握 | 180 | 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性 |
| 2 | 大学の周辺の市町村の特徴と課題2 | 演習 グループワーク 発表 | 地域の特徴を把握し、論じることができる | 把握した地域の特徴をPPにまとめる | 180 | 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性 |
| 3 | 地域の活動実践者より学ぶ 地域の多様な文化活動 問題点を理解し、提案内容を考える 提案内容を具体的に計画する | 講義 演習 グループワーク 発表 | 地域の多様な文化活動の問題点を理解し、提案内容を考えることができる。 | 地域の活動実践者の話から、地域の多様な文化活動の問題点、改善点をまとめる。 | 180 | 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性 |
| 4 | 地域の活動実践者より学ぶ 地域の多様な文化活動 問題点を理解し、提案内容を考える 提案内容を具体的に計画する | 講義 演習 グループワーク 発表 | 地域の多様な文化活動の問題点を理解し、提案内容を考えることができる。 | 地域の活動実践者の話から、地域の多様な文化活動の問題点、改善点をまとめる。 | 180 | 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性 |
| 5 | 地域の活動実践者より学ぶ 地域の産業の現状問題点を理解し、提案内容を考える 提案内容を具体的に計画する | 講義 演習 グループワーク 発表 | 地域の産業の現状、問題点を理解し、提案内容を考えることができる。 | 地域の活動実践者の話から、地域の産業の問題点、改善点をまとめる。 | 180 | 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性 |
| 6 | 地域の活動実践者より学ぶ 地域の産業の現状 問題点を理解し、提案内容を考える 提案内容を具体的に計画する | 講義 演習 グループワーク 発表 | 地域の産業の現状、問題点を理解し、提案内容を考えることができる。 | 地域の活動実践者の話から、地域の産業の問題点、改善点をまとめる。 | 180 | 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性 |
| 7 | 地域の活動実践者より学ぶ 福祉。健康活動の現状 問題点を理解し、提案内容を考える 提案内容を具体的に計画する | 講義 演習 グループワーク 発表 | 福祉。健康活動の現状、問題点を理解し、提案内容を考えることができる。 | 福祉。健康活動の現状、問題点、改善点をまとめる。 | 180 | 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性 |
| 8 | データから地域の特徴・課題を読み取る データの要約、分析 | 講義 演習 グループワーク | 地域の様々なデータを適切に分析し、それについて説明することができる。実践家の話、市のオープンデータなどを活用し、地域の特徴をまとめる。 | 実践家の話、市のオープンデータなどを活用し、地域の特徴をまとめる。 | 180 | 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|----|---|-------------------------------|---|--|-------|---|
| 9 | データから地域の特徴・課題を読み取る データの要約、分析し、考察し、まとめる | 演習 グループワーク 発表 | 地域の様々なデータを適切に分析し、それについて説明することができる。 | 実践家の話、市のオープンデータなどを活用し、地域の特徴をまとめ、発表用の資料の作成ができる。 | 180 | 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性 |
| 10 | 計画した活動の実施 | 地域活動の実施 | 地域活動に参加にあたり、社会マナー、コミュニケーション能力を発揮して地域活動が実施できる。 | 地域活動の参加のまとめの作成 | 180 | 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性 |
| 11 | 計画した活動の実施 | 地域活動の実施 | 地域活動に参加にあたり、社会マナー、コミュニケーション能力を発揮して地域活動が実施できる。 | 地域活動の参加のまとめの作成 | 180 | 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性 |
| 12 | 計画した活動の実施 | 地域活動の実施 | 地域活動に参加にあたり、社会マナー、コミュニケーション能力を発揮して地域活動が実施できる。 | 地域活動の参加のまとめの作成 | 180 | 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性 |
| 13 | 計画した活動の実施 | 地域活動の実施 | 地域活動に参加にあたり、社会マナー、コミュニケーション能力を発揮して地域活動が実施できる。 | 地域活動の参加のまとめの作成 | 180 | 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性 |
| 14 | 活動についてまとめ、効果についてデータとして示す | オンデマンド 地域活動のまとめ グループワーク | 地域活動の結果についてまとめ、改善できたことをデータにして説明できる。 | 地域活動の結果についてまとめ、改善できたことをデータにする。 | 180 | 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性 |
| 15 | PPなどにまとめ発表 | 発表 | 地域活動の結果についてまとめ、改善できたことをデータにして説明できる。 | 他のメンバーの発表を聴き、自分の住んでいる地域に活かしていけることを考える。 | 180 | 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力